



## 愛の絆を強める

ジャイヤ・サイバート

「 temple の中にいなさい」のサツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020年8月1日 土曜日

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！

おめでとう、国際フレンドシップデー、それとも週と言った方がよいでしょうか？ 国によっては、7月30日木曜日にフレンドシップデーが祝われました。また、インドやマレーシアなどの幾つかの「特別な」国では、8月2日日曜日に祝われます。

私は人からとても友好的な人物だと言われます。そういえば、「 temple の中にいなさい」のサツァングのマネジングディレクターであるローヒニー・メノン、私が人と話すことが好きだと聞いて、「これで私の仕事が楽になります！」と言いました。ですから、このフレンドシップの週は、「私の」週だと思うのです！

私の名前はジャイヤ・サイバートです。シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信によるこの「 temple の中にいなさい」のサツァングで皆さんと一緒にいることは、私の喜びであり、とても楽しいことです。私は SYDA ファウンデーションのスタッフの一員として奉仕して

います。「 templeの中にいなさい」のサツツァングは、SYDA ファウンデーションがグルマールイの教えを世界中の誰もが利用できるようにする手段の一つです。

来る8月3日月曜日、すなわちインドの太陰暦のシュラーヴァンの月の満月は、ラクシャー・バンダンの祝祭日に当たります。「ラクシャー・バンダン」という語句はサンスクリット語に由来し、愛の絆、返礼として与える保護の絆を指しています。インドのラクシャー・バンダンの伝統は、姉妹が糸で編んだ腕輪、ラーキーを兄弟の手首に結び、生涯にわたる保護を求めるといったものです。ラーキーと引き換えに、兄弟は姉妹にお金を贈り、彼女を保護するという約束を示します。

そして、今日が「ラクシャー・バンダンの週」の始まりだとも言えます。格言に「座して慶事を待つべからず」というものがあります。今日の私たちのラクシャー・バンダンのお祝いは、この言葉に新しい意義を与えます。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの空は、確かに祝うのをただ待っているわけではありませんでした。グルマールイは毎年のラクシャー・バンダンに、ラーキーの形の雲を見ると言っていました。今日まさにそれが起こりました。グルマールイはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの上空に、ラーキーの形をした雲の輪が——幾つもの糸のような雲の断片がつながって輪を作り——次から次へと晴れた青い大空の至る所に現れるのを見たのです。

インドの、特にマハーラーシュトラ州や他の州の西海岸の一部では、シュラーヴァンの満月はナラリ・プールニマーとしても祝われます。ナラリはマラーティー語で「ココナツ」を意味し、この日、人々は海岸に行き、海の神、ヴァルナ神を崇拝してココナツをささげます。この時期は漁業の季節の始まりとなるので、彼らは水の危険からの保護をヴァルナ神に求めるのです。

ですからいろいろな意味で、この満月の日は保護の日なのです。



今年の「 templeの中にいなさい」のそれぞれのサツァングで、私たちは 2020 年の「グルマーイのメッセージアートワーク」のダルシヤンを受け取り、祝福されています。そして今日は、「グルマーイのメッセージアートワーク」のダルシヤンを受け取った後、私たちは、画像のスライドショーを見ました。多分、あなたはこの二つの関連性に気づいたでしょう。スライドショーの画像は、「あなたの」2020 年の「Glimpses of Gurumayi's Message Artwork グルマーイのメッセージアートワークを垣間見る」です。それらは、2020 年の「グルマーイのメッセージアートワーク」の学習に基づいたあなたの写真、絵画、その他の創造的な表現です。

あなたが自分でも分かっているように、長年あなたはあらゆる美しい努力をして、グルマーイのメッセージアートワークの学習の成果をグルマーイにささげてきました。昨年、SYDA ファウンデーションのマネジメントを代表してスワミ・イーシュワラーナンダから、あなたの手紙を送ることを終わりにして、その代わりとなる他の感謝の表現方法を見つけてくださいというお知らせを、あなたは受け取りました。

グルマーイはそれを考慮して、ローヒニーに SYDA ファウンデーションのウェブサイト部門と話し、人々が「グルマーイのメッセージアートワーク」に関連する写真や創造表現を投稿できるフォーラムを作るよう伝えました。

ウェブサイトのそれらの画像を見ながら、私はバーバやグルマーイの信奉者たちにとっても感動しました。最高に素晴らしいシッダ・ヨーギの皆さんすべてにとっても感激しました。私はシッダ・ヨーガの家族の一員であることにとっても感謝しています。

あなたのできる形で貢献してくださいと SYDA ファウンデーションが招待や要望をするたびに、あなたはそれに応えてくれます。あなたは全身全霊を込めて、そして素早くそれをしてくれます。本当にあなたは、この世界にとって何と素晴らしい贈り物でしょう。

自分が垣間見た 2020 年の「グルマーイのメッセージアートワーク」を共有して下さったすべての皆さん、どうぞ私からの感謝を受け取ってください。疑いなく、グルマーイの「メッセージアートワーク」からインスピレーションを受けたあなたの写真や創造作品を目にしたグルマーイの喜びを、あなたは感じたに違いありません。

自分が垣間見たことを送りたいと思うすべての皆さん、どうぞそうしてください！ どうぞ送り続けてください——今年いっぱいまだ時間が残っていますから。



このサツァングの始まりに、私たちは、ラーキーをやりとりするという最も美しい伝統に、間接的に参加しました。SYDA ファウンデーションのシャクティ・プンジャ部門からの写真をまとめた動画を見ました。それはシッダ・ヨーギたちがグルマーイとバーバ・ムクターナンダにラーキーをささげ、お互いにも交換しているものでした。

私たちがその動画で見たように、ラーキーには——単純な糸から、最も複雑で華やかな宝石まで——本当にさまざまなものがあります。しかし、ラーキーがどのように見えようと——どのような種類や形であろうと——その意味は同じです。それは、愛の絆、仲間意識の絆、そして、その絆によって育まれる保護を意味しています。それはすべて、ラーキーを贈る人とラーキーを受け取る人の意図の中にあります。

ラクシャー・バンダンが伝統的にどのように祝われるかを振り返り、その後サツツァングの冒頭の動画を見た時——ラーキーを互いの手首に結び付けようと、人々がどれほど互いに接近していたかを見た時——私は、「パンデミックの前には、私たちは何という生活をしていただろう」と思いました。とても多くの喜び、とても多くの笑い。互いへの、そして一緒にいることへのとても多くの感謝がありました。

今、私たちの前には新たな挑戦があります。人との距離を保つよう求められるこの時代に、どのようにして同じあふれる喜び、同じ親密な関係、同じ絆を生み出すのでしょうか。互いに顔を合わせて会うことができない時に、どのように真の友情を強めるのでしょうか。互いのやりとりがテクノロジーによって媒介されなければならない時に、どのように新しい人々を知るのでしょうか。身体的に触れること、それがもたらす安全性や保護が、健康のために勧められないこのような状況の中で、どのように私たちの脳は最適に機能するために自らを再プログラムするのでしょうか。それを表現する通常的手段がもはや日常の現実の一部ではない時に、どのように他の人々に私たちが彼らのことを考えていて、彼らとの関係はこれまでにないほど強いのだという事を知らせるのでしょうか。

今日、私たちは国際フレンドシップデーを祝っています。私たちはラクシャー・バンダンを祝っています。友情と保護にささげられたこれらの日は、集まることを含意します。それらは私たちのマインドに、一緒にいる、食べ物を分かち合う、贈り物を交換する、踊る、歌う、手をつなぐ、互いに善意を示す、共にいることを楽しむ、といったイメージをもたらします。

この仲間意識と皆との強い関係を維持する方法の一つは、シッダ・ヨーガの道を歩み、グルマーイの教えを実践することです。そしてそのために、私たちは今日、ここ、テンプルで、サツツァングに参加しているのです。



ジャイヤは3人の話し手を紹介しました——スワミ・イーシュワラーナンダ、ラミ・カリー・サル  
トリー、そしてヴィヴェーク・パンチャパケーサンです。彼らは、保護のさまざまな側面について  
の話をしました。スワミ・イーシュワラーナンダは精神的な保護について、ラミはマインドと心、  
そして身体の保護について、そしてヴィヴェークは、社会とコミュニティーの保護について話し  
ました。それらの話の後に、ジャイヤが再び話しました。

私たちが今日聞いた話が、なぜ私に大きな意味を持つかを話したいと思います。

この 16 年間に、私は3人のいとこを予期せず失いました。彼らは私と年がとても近く、つまり、  
皆、極めて若くして亡くなりました。10代と20代でした。

3人それぞれ、私にとっても近い存在でした。私たちは多くの時間を共にしながら成長しました。  
それぞれのいとこが他界した後、私は深い悲しみと嘆きを感じ、それはどんどん積み重なって  
いきました。3度目にそれが起こった時、私は悲しみと嘆きに加わる何かを感じました。

私はつながりを感じたのです。なぜでしょう？ なぜならこの時まで、私はシッダ・ヨーガの道  
に従い始めていたからです。私は内側で、グルマーイの愛の泉とつながっていると感じました。

私はグルマーイの愛につながり、いとこや私の家族皆に祝福を送ることができると知っていまし  
た。グルマーイとの内なるつながりは、その時期に強くあるための私を支える柱となりました。

グルマーイの愛は、私の生涯にわたって積み上げられてきた悲嘆を乗り越えようとする私を支  
えてくれました。

これらの話を聞く中で、私は、自分といとこのつながりをいつでも感じる事ができるという確信を得ました。私が精神修行をすることによって、彼らの魂は向上するでしょう。彼らもまた、守られるのです。

ヴィヴェーク、ラミ、そしてスワミ・ジ、話してくださり、ありがとうございました。

そして、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで、今日の「 templeの中にいなさい」のサツツァングに参加してくれた皆さん、ありがとうございました。なんと特別で重要な日だったでしょうか。ラクシャー・バンダンを祝う上で、なんと吉兆な始まりだったでしょうか。私たちは愛の絆——保護をもたらす愛の絆——を祝ってきたのです。

皆さんに、シュブ・ラクシャー・バンダン。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。